

腎疾患の 診察・検査 できてますか？

診断精度からポイント・落とし穴・本音・限界まで
現場で活躍中の指導医たちがやさしく語る！

序	谷澤雅彦	3 (2229)
Color Atlas		9 (2235)
執筆者一覧		12 (2238)

第1章 診断・検査の特性，診断 / 予後予測ツール

1. 診断・検査における感度 / 特異度とは？ 西脇宏樹，高見礼示 14 (2240)
 1. 感度と特異度 2. 臨床における感度と特異度 3. 診断精度研究の読み方（基本編）
2. 診断・検査における陽性的中率（PPV） / 陰性的中率（NPV）とは？ 住田圭一 23 (2249)
 1. 診断精度の指標 2. 陽性的中率と陰性的中率 3. 臨床における陽性的中率と陰性的中率
 4. 有病率の陽性的中率と陰性的中率への影響 ● Advanced Lecture
3. 診断，検査における陽性尤度比，陰性尤度比とは？ 耒田善彦 30 (2256)
 1. Bayesの定理と陽性（陰性）尤度比 2. 検査が陽性，陰性のときの検査後確率を計算する
 3. 検査前確率，尤度比，検査後確率を視覚的に理解できるノモグラム ● Advanced Lecture

4. 腎疾患における診断 / 予後予測ツール……………佐々木 彰 38 (2264)
- 1. 診断 / 予後予測ツール：アウトカムを診断 / 予測するためのツール
 - 2. 予測ツールのつくり方
 - 3. 腎・透析領域での予測ツール

第2章 血圧 / 血管雑音・体液量の評価

1. 正しい血圧測定方法と血管雑音……………横田 啓 44 (2270)
- 血圧測定方法 1. 正しい血圧測定方法 2. 診察室血圧・家庭血圧・ABPMの特徴と利点・欠点
 - 3. 高血圧のタイプ 4. 血圧測定方法のtips ●血管雑音 1. 頸動脈雑音 2. 腹部血管雑音
2. 細胞外液量減少時の身体所見……………森久保 悟, 谷澤雅彦 54 (2280)
- 1. volume depletion と dehydration 2. 細胞外液量減少時の身体所見
3. 細胞外液量増加時の問診と身体診察……………上原圭太 59 (2285)
- 1. 心不全・細胞外液量増加を示唆する病歴・身体所見 2. 圧痕性浮腫 / 非圧痕性浮腫について

第3章 腎疾患の診断に必要, または関連する画像検査

1. 体液量の評価

- ①細胞外液量減少時の画像診断～動的指標とエコー診断を中心に……………高松由佳 66 (2292)
- 1. そもそも輸液は何のため? 2. さまざまな指標 (静的指標と動的指標) 3. 各指標の限界を知ろう ● Advanced Lecture : 心エコーを用いたCOの算出法

- ②腎うっ血の画像評価「The VExUS Grading System」……………堀川武宏, 北野夕佳 73 (2299)
- 1. The VExUS Grading Systemの具体的な施行法と解釈 2. The VExUS Grading Systemを解釈するうえでの注意点とピットフォール

2. 腎臓の画像検査

- ①CT……………西 智弘, 篠田和伸 82 (2308)
- 1. 泌尿器科領域におけるCT検査の役割 2. 泌尿器科 common diseaseにおけるCT検査の有用性
- ②エコー……………座間味 亮 88 (2314)
- 1. 腎動脈狭窄症の頻度 2. 腎動脈狭窄症におけるエコー検査の有用性 3. 腎動脈狭窄症のエコー所見 4. 腎血管抵抗 (RI)

3. 心腎症候群

- ① 電解質異常で生じる心電図異常龍華章裕 93 (2319)
1. 高カリウム血症による心電図異常 2. 低カリウム血症による心電図異常 3. Ca, Mg濃度異常による心電図異常 ● Advanced Lecture
- ② 心不全と腎不全：心腎連関.....黄 世捷, 木田圭亮 100 (2326)
1. 心エコーの特徴 2. 循環器内科へのコンサルト

第4章 腎疾患に関わる血液検査と尿検査

1. そもそも腎機能とは何か?大山友香子 107 (2333)
1. 腎機能とは通常糸球体濾過量 (GFR) を指す 2. GFRの正確な測定法 3. 実臨床での腎機能評価 (SCr値のピットフォール) 4. GFRやCCrを推定する方法と特徴 5. 薬剤投与時にはどの式で評価するか
2. 尿細管障害マーカーとは?川端知晶 114 (2340)
1. 尿細管障害の臨床的特徴 2. 尿中低分子タンパク質 (尿中 β_2 -mと尿中 α_1 -m) 3. 尿中N-アセチル- β -グルコサミナーゼ (NAG) 4. その他, 最近話題のマーカー
3. NaとClからわかること, Clって必要?志水英明 119 (2345)
1. Na - Clの有用性とピットフォール 2. 尿Cl濃度の使い方
4. AGは下がることもある. AGの原理を理解しよう山口 真 127 (2353)
1. AGの原理 2. AGが動くとき (AG上昇と低下) ● Advanced Lecture : 1 低アルブミン血症でAGが低下する理由 2 免疫グロブリンはすべて陽イオンなのか? 3. 実臨床におけるAGの使い方 4. AGの解釈の注意点 5. AGの測定が役立った症例
5. 腎不全患者のトロポニンT, BNP, NT-proBNPは基準値ってあるの?内藤 亮 134 (2360)
1. CKD患者でのACS診断におけるトロポニンTの有用性 2. CKD患者での心不全診断におけるBNPの有用性
6. 腎不全患者のプロカルシトニン, プレセプシンは基準値ってあるの?藤井修一 141 (2367)
1. 感染症診療におけるバイオマーカーの意義 2. プロカルシトニン (PCT) とは? 3. プレセプシン (P-SEP) とは? 4. 腎不全患者のPCT, P-SEPの基準値 5. PCTとP-SEPの臨床への利用

- 7. 蓄尿検査と尿蛋白定性・尿蛋白定量検査** ……………尾関貴哉 147 (2373)
- 蓄尿検査からわかること
 - 随時尿検査からわかること
 - 尿蛋白検査の評価方法
 - Advanced Lecture：随時尿のアルブミン値は随時尿蛋白または蛋白定性検査から推定可能か？
- 8. 尿定性検査を使いこなそう ～すべての結果を見て見ぬ振りをするな！**
……………角 浩史, 富永直人 154 (2380)
- 尿定性検査でわかることは非常に多い
 - 尿定性検査のここに注意！ 偽陽性と偽陰性
- 9. Fractional Excretion of ○○とは** ……………村井由香里, 藤田芳郎 162 (2388)
- 計算方法
 - FENa, FEUN, FEUAの特徴と診断精度
 - FE○○の豆知識
 - FEUAのもう1つの使い方：低ナトリウム血症の鑑別診断
- 10. FEKとTTKG**……………関口桃子, 長浜正彦 171 (2397)
- カリウム排出の検査について
 - FEKについて
 - TTKGについて
 - TTKGの撤回の理由
 - 理論上否定されたTTKGは臨床上也使用できないのか

第5章 腎疾患別の身体所見・血液・尿検査と腎生検

- 1. 急性腎障害** ……………宮内隆政 177 (2403)
- AKIの定義 ● Advanced Lecture：1 AKI診療の際に生じる腎障害の程度と測定値のズレ
 - keGFRという概念
 - AKIの診断に向けての病歴聴取
 - AKIの検査
 - Advanced Lecture：バイオマーカー
- 2. 急性尿細管間質性腎炎** ……………寺下真帆 185 (2411)
- 急性間質性腎炎とは
 - AINを疑うべき状況
 - 検査
 - 実際の診断・治療アルゴリズム
- 3. 尿路感染症** ……………古庄正英 192 (2418)
- 尿路感染症の診断戦略
 - STEP1：患者背景を探る
 - STEP2：症状・身体所見
 - STEP3：尿検査
 - STEP4：鑑別診断
- 4. 二次性高血圧の身体所見・症状**……………石井 聡 196 (2422)
- 原発性アルドステロン症
 - 偽アルドステロン症
 - Cushing症候群
 - 褐色細胞腫/パラングリオーマ
 - 先端巨大症
 - 甲状腺機能亢進症
 - 甲状腺機能低下症
- 5. 尿毒症症状とは一体何か？**……………後藤俊介 203 (2429)
- 尿毒症症状の機序は？
 - 透析導入期での尿毒症症状の頻度は？
 - 尿毒症症状はいつから出現するか？
 - 尿毒症症状は鑑別可能か？

6. 腎生検について小口英世 208 (2434)
- 1. 腎生検の適応・禁忌と腎生検の方法
 - 2. 尿所見と腎生検所見, 腎病理形態の定義
 - 3. 若手がどのように腎病理を学んでいくか

第6章 専門家に聞く～腎疾患関連重要事項から全患者さんへ注意を向けよう～

1. 腎不全患者のポリファーマシー中村大樹, 家 研也 212 (2438)
- 1. ポリファーマシーとは
 - 2. 腎不全患者の薬物治療の実際
 - 3. 腎不全患者のポリファーマシー解消の糸口
 - 4. 減薬について
 - 5. 適切なポリファーマシーと不適切なポリファーマシー
2. 腎不全患者のワクチン伊藤健太 218 (2444)
- 1. 腎不全患者にワクチンを接種する理由
 - 2. 腎不全患者に推奨されるワクチン, 接種する際の要点
 - 3. ワクチン接種の現状
 - 4. 腎不全患者におけるワクチンの効果 ● Advanced Lecture
3. 腎臓内科医の現在・未来祖父江 理 226 (2452)
- 1. 従来型のオールラウンダーとしての腎臓内科医
 - 2. 新しい腎臓内科領域のサブスペシャリティ ● Advanced Lecture

- 索引 231 (2457)